

伊万里 市議会だより

第64号

平成30年
(2018年)

2月



任期最後の1年を迎えて…

12月補正額
7億3,983万円

予算総額
266億1,612万円
(前年比-1.8%)

「議員と語ろう
意見交換会」を行います!
(3ページ)

政務活動費使途の公開
を始めました
(8ページ)

平成29年伊万里市議会第4回定例会 会期日程

12月

開議時刻 午前10時

新年あいさつ

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議長といたしましては、議会の機能を充実し、改革を続けることは勿論のこと、市民の立場にたって、市長、執行部の行政とは「近からず、遠からず、車の両輪の如く」を基本に、全議員が市民の期待、負託に応えるべく努力してまいり所存であります。

本年も伊万里市議会は、市民の社会福祉の向上と、市政発展のために全力を尽くして参りますこととお誓いし、この新しい年が、市民の皆様、伊万里市にとりまして、幸せ多い、良き年となりますことをご祈念申し上げます。

伊万里市議会議長
前田 久年

公職選挙法の規定により、議員は頂いた年賀状への返礼で、かつ表裏とも手書きでないと出せないため、失礼しております。どうぞご理解ください。

伊万里市議会議員一同

定例会会期日程など

日	種別	内容
1(金)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案 29件……一括上程 市長提出議案の提案理由説明
5(火)	本会議	議案に対する質疑
6(水)	本会議	議案に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(木)	休会	特別委員会(地方創生・議会基本条例)
11(月)	本会議	一般市政に対する質問
12(火)	本会議	一般市政に対する質問
13(水)	本会議	一般市政に対する質問
14(木)	休会	常任委員会
15(金)	休会	常任委員会
19(火)	休会	正副委員長会
20(水)	本会議	意見書案 1件……上程 意見書案の提案理由説明 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論及び採決 閉会

教育委員の交代

平成24年1月から務めて頂いた鈴木幸子さんの任期満了により、新たに山口菘月さん(伊万里中学校育友会副会長)の任命に同意しました。

鈴木さんに感謝申し上げますと共に、山口さんのご活躍を期待しています。

意見書

「道路整備の推進」と「道路財源の特法における補助率等の高上げ措置の継続」に関する意見書

道路財源の確保と補助率の高上げ維持を求めるもの。全会一致で可決し、国会および政府に提出しました。



お出掛けください!!

議員と語ろう・意見交換会

伊万里市議会では、昨年制定した「議会基本条例」で市民の皆さんと意見交換する場を設けることとしており、今回初めて開催します。意見が出しやすいような場の在り方を考えていますので、寒い時期ではありますが、どうぞお誘いあわせの上、ご参加ください。

期 日	場 所（公民館）	時 間
2月19日（月）	大川内公民館① ※	19:00～20:30
20日（火）	東山代公民館① 南波多公民館②	
21日（水）	松浦公民館① 黒川公民館② 伊万里公民館③	
22日（木）	立花公民館② 大川公民館③	
23日（金）	山代公民館① 波多津公民館③	
24日（土）	牧島公民館② 二里公民館③	
25日（日）	大坪公民館③	14:00～15:30

※議員を①②③の3班に分けて対応します。班編成は以下のとおり。

議員の班編成	班 別	議 員 名
	① 班	馬場、岩崎、前田邦、弘川、船津、松永、多久島、草野
	② 班	坂本、井手、副島、松尾、渡邊、樋渡、笠原、盛
	③ 班	前田久、中山、力武、前田敏、東、香月、梶山、山口

★お問い合わせは：議会事務局 ☎ 23-2594 fax 22-1277
e-mail : gikai@city.imari.lg.jp

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました条例議案3件、予算議案1件について審議の結果、原案通り可決・承認すべきものと決定しました。主な内容は以下の通りです。

【補正予算議案】

■議案乙第41号 平成29年度伊万里市一般会計補正予算(第7号)

○消防団運営事業 ……………7万6千円

自治体消防制度70周年記念式典が平成30年3月7日、東京の国技館で開催されるにあたり、伊万里市消防団長の参列に必要な経費。

なお、前定例会で議案外質疑のあった防火水槽の定期清掃、団員の勤務する事業所に対して団活動への理解と協力依頼及び団員のP T S D対応については、早急な対策が講じられています。

○市長選挙執行事業 ……………318万1千円

平成30年4月26日の任期満了に伴う市長選挙の準備に要する経費。なお、4月8日告示、4月15日投開票となっています。

○移住・定住促進事業 ……………390万2千円

地方創生の取り組みとして実施している、移住・定住奨励金が当初の見込みを上回り不足が見込まれるため補正を行う。

○伊万里市留守家庭児童クラブ運営業務委託料

期 間：平成30年度～平成32年度

限度額：3億6062万1千円

条例改正により留守家庭児童クラブ受入れが小学校全学年に拡大されるのに伴い、支援員の確保等を目的として平成30年4月からの民間委託に伴う運営業務委託料の債務負担行為の補正。

【委員会からの意見】

*伊万里市留守家庭児童クラブ運営業務委託料の債務負担行為の補正について、仕様書を参考に審査した結果、

①支援を必要とする児童に対する加配体制

②業務引継ぎの際の規定

を仕様書に明記することを要請する。

【委員会による主な質疑】

*消防組合負担金清算金の今後のあり方について

*伊万里市留守家庭児童クラブ運営事業の仕様書について

【現地視察】

■西九州自動車道路(南波多町高瀬(H29.12.15))



平成29年度完成予定である南波多谷口ICから伊万里東府招IC間の地滑り対策工事現場

行政視察報告(10月30日～11月1日)

○湖南広域行政組合

・行政組合の組織について

・女性消防隊員について

一部事務組合の統合と効率化、また、女性消防職員採用の必要性、それに対応する庁舎のあり方。

○大津市

・議会BCP及び災害等対策基本条例について

・乗合タクシーについて

議会と執行機関との役割、議会任務の中で

の災害対応能力の必要性、また、移動弱者対策としての新たな交通網の再構築。

○彦根市

・美しい彦根創造活動について

市民自らが「まちを美しくする」取組としての「美しい行為」「地域通貨」による新たなまち創造。

◎井手 勲 ○中山 光義

前田 久年 梶山 太 力武 勝範

盛 泰子 草野 譲 多久島 繁

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託された条例議案3件、一般議案3件、補正予算議案4件について審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。

主な内容は以下の通りです。

【条例議案】

■伊万里市立義務教育学校の設置に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

義務教育学校南波多郷学館の新年度開校にあたり関係条例の一部を改正する。

■伊万里市留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について

新年度から受入れ学年を全学年に引き上げるとともに、クラブの名称及び位置を整理するため一部を改正する。

■伊万里市大川町コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例制定について

コミュニティセンターが、大川と波多津の2か所になるため一部を改正する。

【一般議案】

■指定管理者の指定について

「伊万里市こどもハートフルセンターひま

わり園」「伊万里市老人福祉センター」「伊万里市大川老人憩の家・伊万里市山代老人憩の家・伊万里市波多津老人憩の家」各々の3年間の指定管理者を指定するもの。

【補正予算議案】

■平成29年度一般会計補正予算（第7号）

民生費

○障害児通所給付事業 ……3,865万8千円
障害児等に対する支援サービスなどの通所給付として扶助費等を増額する。

○健康診査事業 ……792万円
がん検診受診料金のワンコイン化及び子宮がん検診の広域化事業の開始に伴う増額。

教育費

○中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業 ……289万2千円

新入学生用品費の支給単価を国の基準に合わせて引き上げるとともに、支給開始時期を入学年度前(3月)に変更。単価が、中学校は23,550円から47,400円に、小学校は20,470円から40,600円となる。

【意見】

・大坪児童クラブにおいては、来年度4月から6年生までの児童受け入れが可能となるよう条例の改正を行うとともに、必要な予算確保を図ること。

行政視察報告（11月6日～8日）

○北海道紋別郡遠軽町

教育において観光資源（黒曜石）を活用されている白滝ジオパーク交流センターを視察し、事業概要や学校教育との連携などの状況を学んだ。地元行政だけでなく、地域住民や学識経験者、利害関係など多様な主体の参画を得て、民間主体の活動領域の拡大をされている。学校教育との連携・若い担い手育成では、身近にある黒曜石を通して、特に小学校の「石育」活動（「石とふれあい・石にまなび・石といきる」）を重点目標とし、自発性と思いやりの心を育む教育をされている。また、ホームページを通して全国に情報発信活動を実施されている。

○北海道江別市

子育て支援の取り組みを施策し、子育て広場「ぼこあぼこ」を視察。支援拠点施設として商業施設内イオンタウン江別2階に開設。原則年中無休、利用年齢0歳から小学6年まで、利用料は無料、利用者は会員登録制で入退館管理をする。施設内は年齢に応じた遊具が有り、子育てをテーマに講演会や各種講座を開催、ハローワーク等との連携し就労相談も行われている。定住対策の1つとして大変参考になった。

○北海道恵庭市

こすもす保育園を視察、保育園民営化の状況・ガイドラインの策定について視察した。厳しい財政状況の中、新時代の諸問題に迅速な対応すべく、積極的に民間委託・民間活力の導入を推進し、行政の効率化が進められている。公募の範囲は市内に限定せず、法人を広く募集。公立5園の内、1園が民営化され、2園が業務委託で1年後民営化される。伊万里市の保育を考える上で参考となる事が多かった。



恵庭市こすもす保育園視察

○香月 孝夫 ○前田 邦幸
馬場 繁 副島 明 山口 恭寿
船津 賢次 松尾 雅宏 樋渡 雅純

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

本委員会に付託されました予算議案について審査した結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。

主な内容は以下の通りです。

農林水産業費

- 農地集積・集約化事業 ……295万8千円
農業の生産性を高め、競争力を強化するため農地中間管理機構を活用して農地の貸借等をした個人や地域団体等に対しての補助費。
- 基幹水利施設等緊急補修事業 ……98万2千円
伊万里市土地改良区大川内工区内の揚水ポンプが故障し、営農に支障を来しているため、機器の更新に要する経費の補助費。

商工費

- 駅ビル機能強化事業 ……264万3千円
備品（テーブル、椅子）の購入費及び備品を収納する倉庫の整備費。
- 創業支援事業 ……50万円
（合宿型ビジネスコンテスト開催事業補助金）
起業を志す全国の大学生が現地へ集い、4

行政視察報告（10月31日～11月2日）

○福井県三方上中郡若狭町（有害鳥獣対策について）

有害鳥獣駆除対策においては、捕獲後の埋設処理が課題である。委員会では有害鳥獣の処理及び利活用について嶺南広域行政組合が管理している有害鳥獣処理施設（焼却施設）及び食肉処理加工施設（ジビエ工房）を視察するとともに事業運営について学んだ。それらの施設は平成19年度に基本構想を策定、平成22年度から工事に着手し、平成25年度に全ての施設が完成した。

総事業費は5億8,800万円（財源内訳 国庫：1億8千万円、核燃料税補助金：4億800万円）。施設の年間の運営経費は約1,700万円で、年間約350日稼動しており1日に約30頭処理している。

この施設の完成により、捕獲後に現地で埋設処分をする必要がなくなり、肉体的負担の軽減と環境の保全が図られている。

○福井県小浜市（観光振興について）

小浜市の観光客数は平成16年は約144万人であったが、平成19年のNHK朝の連続テレビ小説「ちりとてちん」の効果や平成20年のOBAMAフィーバー、平成26年の舞若高

日間の滞在を経て、「よそ者」や「若者」の視点で地域の課題解決に向けたビジネスプランを提案する「合宿型ビジネスコンテスト」の伊万里開催に係る経費の補助費。

■伊万里ブランド販売促進事業 ……50万円
（めいぶつチョイス利用料）

市特産品のさらなるPRと販路開拓に繋げるため、総務省が構築する「マイナンバーカードを活用した地域経済循環システム」の実証事業のひとつとして開設された通販サイト「めいぶつチョイス」の利用に要する経費。

（意見）

- ・市営駐車場の料金割引制度については、障がい者に対する配慮を今後検討されたい。
- ・農地集積・集約事業については、わかりやすい説明による制度の周知を図られたい。
- ・通販サイト「めいぶつチョイス」については伊万里市の魅力が伝わる商品のラインアップに努められたい。

（質疑）

- ・合宿型ビジネスコンテスト「BIZ CAMP」について
- ・通販サイト「めいぶつチョイス」について

速自動車道の全線開通、そして平成27年の北陸新幹線金沢開業などにより、平成28年の観光客数は約196万人と、飛躍的に増加している。

まちなかには多くの空き店舗もあるが地域の特性や特産品を活かして観光客の増加に取り組まれている。

産業においては、水産・食品加工業、箸産業。観光・交流では日本遺産に認定された「御食国と鯖街道」の活用。生活では、豊かな自然、歴史、文化、食に対する取り組み等、今ある地域資源を、どう活用するかを考え、地域力の結集と域外者の参画、さらに観光のまちづくりとして小浜市、補助団体おばま観光協会、そして支援・協働するおばま観光局の3団体が、それぞれ役割を分担し産業・経済の活性化を図っている。

また、3駅構想（道の駅、海の駅、まちの駅）を実現し、さらにレトロ調バスを無料で周遊（ラウンドバス）させて3駅の連携による観光の活性化も図っている。

◎東 真生 ○坂本 繁憲
渡邊 英洋 笠原 義久 松永 孝三
弘川 貴紀 前田 敏彦 岩崎 義弥

地方創生調査特別委員会

1. 移住・定住推進への取り組みについて
 - 移住体験住宅事業
本市への移住希望者に住居又仕事探しなどの活動拠点として民間借家を無料で提供し、人口流入の促進を図る。
平成28年11月の事業開始からの実績は22名。
 - 伊万里市空き家情報バンク
バンクに登録された空き家物件情報を市のホームページに掲載し、購入したい方や借りたい方に情報提供するものである。又平成29年11月から全国版空き家・空き地バンクでの運用も開始している。
これまでの登録物件数は47件で、その内23件が成約している。
 - 移住・定住奨励金制度
本市へ移住を希望する若者世代に対し、経費の一部を支援するものである。
マイホーム購入奨励金
限度額、新築100万円・中古30万円
交付件数、H28年度5件・H29年度5件
空き家リフォーム奨励金
限度額、空き家30万円・空き店舗50万円
交付件数、H28年度1件・H29年度0件
賃貸住宅入居奨励金
限度額2万円、期間最長24か月
交付件数、H28年度6件・H29年度14件
・奨励金制度利用移住者数71名(30世帯)
 2. 婚活応援推進事業について
少子化対策などを目的に平成22年度からの取り組みで、これまで1,134名の登録があり459組のカップルが成立し、179名の登録者から成婚報告があった。
 3. 企業誘致について
 - 本年度は、86社に対し延べ128回の立地勧奨を実施し、昨年11月に関東地区のIT企業5社へ重点訪問を行った。
 - さが創生オフィススペース創出事業
民間オフィスビルを市が借り上げ、企業誘致のため活用する事業で、昨年4月から運用を開始している既設物件オフィスについては、企業の進出に至っていない。
新築の拠点オフィスについては、本年2月の完成に向け工事が進んでいる。
 4. 駅ビル機能強化事業について
 - 駅ビル工事進捗状況について
トイレ、ペDESTリアンデッキ、塔の改修は完了し、現在、駅前公園テラス新設、誘導看板設置等の2期工事に着手している。
 - 駅前公園テラスの活用に向けた取り組み
各種団体とタイアップし、イベントやマルシェ・ワークショップ等、月1回程度のイベント開催が予定されている。
- ◎船津 賢次 ◎前田 敏彦
松尾 雅宏 多久島 繁 草野 譲
渡邊 英洋 笠原 義久

議会基本条例推進特別委員会

- これまでの協議項目と内容
議会基本条例の規定に基づき以下の4項目において細則案の策定を行った。
 - (1)伊万里市議会報告会開催要綱
委員会で作成した「議会報告会開催要綱案」について、全議員の合意を得て11月1日付けで議長に提案を行い、同日制定・施行された。その要綱に基づいて議会運営委員会で実施計画が作成され、2月に市民と意見を交換する議会報告会が開催されることとなった。
 - (2)伊万里市議会と市民との意見交換会実施要綱
市内に所在する市民団体を対象に分野別での開催を想定した意見交換会の実施について、趣旨や案件、開催の申し込み、出席議員等詳細に検討を行い、全7条の要綱案にまとめた。
 - (3)反問権行使の運用基準
議会基本条例第7条3項に規定している反問権は審議の論点の明確化を目的としたものである。この反問権の具体的な運用について、この行使の手順や運用例、質疑等の取扱いについて規定した運用基準案を作成した。
 - (4)伊万里市議会における災害発生時の対応要領
昨年度設置された防災・環境施設対策調査特別委員会において、災害時における議会及び議員の役割、責務について調査研究が行われた報告書を基に、市議会における災害発生時の対応要領(案)にまとめ、併せてそれに基づく議会及び議員の対応フロー図を作成した。さらに今後は、初動時の参集基準や活動時の留意事項を明記した行動マニュアルを策定することとしており、その中で災害前の平時と発災直後の初動期、初動期経過後、及び復旧・復興期のそれぞれの場面での議会がなすべきことをとりまとめる予定である。
 - 今後の協議項目
今後は議会研修会、政策討論会・自由討議、正副議長所信表明の細則案の策定及び会派要綱の見直しについて協議することとしている。
- ◎梶山 太 ◎弘川 貴紀
前田 邦幸 力武 勝範 東 真生
香月 孝夫 松永 孝三

議会運営委員会

議会運営委員会報告・視察受入れの状況

議会運営委員会では、平成29年3月に制定した伊万里市議会基本条例に基づき、議会改革を進めております。既に実施している取り組みや検討状況を報告いたします。

1 一般質問の動画配信

これまではケーブルテレビでの生放送、録画放送でしか見る事が出来ませんでした。平成29年6月定例会より一般質問終了後、概ね2週間後から、いつでも、何処でも、好きな時間に見ることができるようになりました。市のホームページから市議会を選んで、一般質問の動画公開で見ることができます。6月定例会では15名、9月定例会では13名、12月定例会では13名の議員が質問をおこなっておりますので、議員が市長らとどんな議論をしているか、どうぞご覧ください。

2 政務活動費の使途をホームページで公開します。

伊万里市では議員の調査研究活動に、年額25万円(月あたり約20,833円)が申請者に支給されています。使途については、他市より厳しい「政務活動費の執行に関する

運用方針」を定めており、申請者に支給され、他市より厳しい「政務活動費の執行に関する運用方針」により、研修などに生かされています。その報告書は、これまで情報公開請求を受けて議会事務局で公開していましたが、平成28年度分から市議会のホームページで、報告書はもちろん領収書も公開し、より透明性の高い仕組みづくりを進めております。

3 申し込みによる、議会との意見交換会

議会主催の報告会、意見交換会とは別に、各種業界団体や市民団体からの申し込みによる意見交換会も開催出来るように協議しております。実施要項については、議会基本条例推進特別委員会で詰めの作業が行われており、まもなく決定する運びとなっております。市政に関する事、議会に関する事など、疑問に思っていることや訊ねたいことを、要項に沿った10名以上の団体であれば申し込むことができます。

◎樋渡 雅純 ○副島 明
岩崎 義弥 中山 光義 坂本 繁憲
山口 恭寿 井手 勲 盛 泰子

行政視察受入れの状況 (項目別/2017年4月～12月)

項目	来訪議会名 (人数)、順不同
防災マップ	埼玉県朝霞市 (7)
食のまちづくり推進条例	北海道三笠市 (11)
水道施設の高度浄水処理方式	石川県能登町 (10)
地域ブランドを活用した地方創生	京都府 (13)
市民図書館	東京都日野市 (11)、埼玉県八潮市 (7)、北海道当別町 (7)、宮城県名取市 (4)、埼玉県加須市 (9)、東京都練馬区 (15)、埼玉県深谷市 (5)、新潟県三条市 (8)、兵庫県宝塚市 (1)、岡山県笠岡市 (2)、北海道赤平市 (6)、新潟県胎内市 (7)、千葉県市川市 (6)、千葉県柏市 (9)、秋田県横手市 (5)、

行政視察受け入れ ぐぼれ話

*東京都墨田区議会 区民文教常任委員会

多くの自治体の図書館設置条例では「図書館法第10条の規定により・・・図書館を設置する」と設置目的が明記されていません。一方、伊万里市民図書館設置条例では「すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治

の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する」と明記している点を視察で学び、墨田区立図書館設置条例を議員提案で修正されました。視察が活かされた事例として嬉しい限りです。

一般質問事項

一 般 質 問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
樋渡 雅純	1. 子育て応援アプリの導入について (1)子育て支援情報の周知方法 (2)母子健康情報サービスの概要	前田 邦幸	1. 第5次後期基本計画について (1)現在までの状況 (2)子育て支援の充実 (3)医療体制の充実 (4)スポーツの振興 (5)学校教育の推進 (6)今後の総合計画
	2. ひきこもりの現状と支援体制について (1)本市の不登校・ひきこもり・ニート等の相談状況と対応 (2)県実態調査と本市の現状 (3)相談窓口と支援のあり方 (4)県施設の活用と連携強化		1. 市職員の職場環境の確保について (1)職員の勤務状況について (2)人材育成の取組みについて (3)メンタルヘルス対策について
盛 泰子	3. 地域包括支援体制の今後の動向 (1)各町における生活支援体制 (2)市の支援と充実強化について	馬場 繁	2. 道路整備について (1)西九州自動車道について (2)市道の整備について
	1. 危機管理について (1)安定ヨウ素剤事前配布のあり方 (2)「原子力防災のてびき」		1. 有害鳥獣対策について (1)捕獲後の処理 (2)直近3年間の捕獲状況 (3)狩猟免許取得促進事業 (4)焼却施設建設に向けた取り組み
梶山 太	2. 教育の充実へ向けて (1)教員不足の現状と課題 (2)特別支援教育支援員の状況 (3)総合教育会議	坂本 繁憲	2. 観光振興について (1)観光PRについて (2)直近3年間の観光客の推移 (3)民泊の取り組み (4)今後の取り組み
	3. 政策形成過程の共有について (1)留守家庭児童クラブ民営化 (2)審議会等会議録		1. 通信制高校への進学について (1)伊万里市から通える通信制高校の概要 (2)通信制高校のメリットとデメリット (3)高校未進学者への案内
船津 賢次	4. 一部事務組合の統合について	岩崎 義弥	2. 市営散弾銃射撃場跡地について (1)新規大型沈砂池設置への用地交渉 (2)散弾銃射撃場環境対策検討委員会 (3)地元住民との意見交換会
	1. 2025年問題と少子高齢化について (1)2025年問題への対応 (2)第7期介護保険事業計画 (3)少子高齢化における諸問題		1. 松島搦開発について (1)都市計画道路大坪・木須線 (2)都市計画用途地域 (3)大型商業施設誘致 (4)道の駅
前田 敏彦	2. 柴町区の新たな取り組みについて (1)支温の家の取り組み (2)宅配業者との業務提携 (3)市の取り組み	松尾 雅宏	2. セツ島団地路線認定について
	1. 伊万里みなと祭り2017について (1)焼き物積出港の模型がイベント会場に展示されなかった理由		3. 有害鳥獣最終処分について
副島 明	3. 元気バスについて (1)市内の方が利用する場合の利便性向上について	力武 勝範	4. 水田農業について (1)生産調整廃止に伴う伊万里市水田農業の対応 (2)収入保険制度の課題と対策
	4. 小中学校のエアコン設置状況について		1. 留守家庭児童クラブの民間事業者への運営業務委託について (1)経緯及び理由 (2)防犯、防災対策 (3)業務委託費の積算基準 (4)業者選定 (5)学校及び地域との連携
副島 明	1. インフルエンザ対策について (1)インフルエンザワクチンの供給について (2)インフルエンザ予防接種助成について (3)市内での感染状況について (4)学校でのインフルエンザ対策について (5)インフルエンザ予防の取り組み	井手 勲	2. 会計年度任用職員制度の導入について (1)制度の概要 (2)財政に及ぼす影響 (3)市の方針
	1. 防犯灯設置事業について (1)決算委員会の意見を踏まえての検討状況 (2)今後の事業の考え方		1. 市長と語ろう「伊万里の夢づくり」座談会について (1)所感及び今後の活用について
	2. 伊万里港50周年記念事業について (1)記念事業の総評 (2)伊万里港の作詞を公募とする選択肢はなかったか		2. 道路施策について (1)伊万里東府招インター付近の状況及び今後の方向性について (2)府招インターを利用した高速バス運行について
	3. 留守家庭児童クラブへの6年生までの児童受け入れ拡大について (1)改正条例に大坪児童クラブの記載がない理由とその原因 (2)大坪第4児童クラブの設置		3. 教育施策について (1)南波多中学校閉校後の跡地利用 (2)南波多郷学館の児童クラブの方向性

一般質問

子育て応援アプリ
導入



樋渡 雅純

質問 子ども子育て支援新制度がスタートし、利用者視点の観点から情報提供や相談・助言を行う自治体独自の事業も全国で検討されている。市の事業の情報提供をどう利用者の手元に届けるか大事な視点。①妊婦から就学前までの切れ目ない支援の情報はどう周知されているか。②スマートフォンアプリを活用し、好きな時に、好きな場所で、情報を取得できるような配信が広がっている。この母子健康情報の概要は。③市の考えは。

答弁 市民部長

①広報やホームページ、直接案内、郵送、相談窓口で案内している。②母子保健情報、イベント情報、施設マップ、緊急情報、スケジュール通知、年齢に合わせた情報発信等。③動向を注視したい。

引きこもりの現状と
支援体制

質問

近年、社会生活をするうえで困難な課題を持つ若年層、中高年の引きこもりなど、その長期化や高齢化が指摘されている。①引きこもりに関連した相談は。②昨年内閣府が引きこもりの実態調査を実施。推計54万1000人。佐賀県での実態調査は。③県引きこもり地域支援センターが開設された。運営主体のNPO法人は、多くのサポーターや専門員を活用し訪問支援を中心とした事業を展開している。市の訪問支援の充実と、施設との連携を。④ひきこもりの実態が見えない中で、社会復帰を後押しする取り組みは困難。

答弁 ①②③市民部長、④市長

①市民部関係で7件、教育関係で28年度92件。②男性が60%と女性の2・4倍。60歳以上、40歳代で72%と多く、又3年以上に及ぶ割合が72%と高齢化、長期化にある。③必要に応じて行っているが、効果的な方法、見極め等のスキルの向上必要。県の特化した施設や体制が明確になり、そのネットワークを活かし支援体制強化を図っていく。④家族も相談しにくい状況もあり表面に出にくく把握できない。施設の周知に努め幅広い年齢層や、多様なケースへのきめ細かな支援ができる体制に努める。

教育の充実を



盛 泰子

質問 ①市内小中学校の教員の講師率は。②正規の教員増を県へ要請すべき。③山積する教育課題への対応のために「総合教育会議」は、年に複数回の開催を。

答弁 ①教育長、②市長、③政策経営部長

①小学校で7・1%、中学校で10・8%。病休者が出た際に補充がままならず、学校運営に支障が出る場合もある。②産休や病休代替以外で講師を定数内に数えるのはおかし。正規の教員を増やすべきで市長会から何度も県に要請している。③教育大綱を策定した初年度以外は年一回の開催。今後は回数増を検討したい。

学童保育の民営化

質問 ①議会に仕様書が示されていないのは遺憾。問題提起してきた交通費など待遇面はどうなるか。

②状況の変化により加配などの必要が生じた時に、契約変更は可能か。(補正予算で対応すべきである。)③余りにも唐突である。今後はしっかりと調査研究できるように、方向性が出た段階で議会へ説明すべき。

答弁 ①②教育部長、③政策経営部長

①仕様書に交通費や健康診断について盛り込み、業者に求める。②予算内での対応とする。③国との協議に時間的余裕がない時など一部の場合を除き、早い段階で説明する。

危機管理

質問

①県による安定ヨウ素剤の事前配布は準備不足の上、市役所一ヶ所のみ。立地県ではない福岡県の方が手厚い。②県作成の「原子力防災の手引き」も不十分。県に充実を要請すべき。

答弁 ①市長、②総務部長

①来年度以降は、配布場所を増やすよう、早速、県と協議する。②来月配布の「手引き」には間に合わないが、避難先の電話番号明記などの充実を要請する。

一般質問

どうなる？
2025年問題



梶山 太

質問 6年後に迫った2025年
が抱える問題とは。

答弁 市民部長

団塊の世代が75歳を超えて後期
高齢者となり、高齢化がピークを
迎え、様々な問題が表面化するこ
とである。高齢化により、労働力
人口の減少、社会保障費の増大が
自治体の財政を圧迫してしまう。
中でも最も懸念されるのが高齢化
の進展に伴う介護に関わる問題で
あると捉えている。

質問 この問題は様々な行政サー
ビスに大きな影響を与えるため、対
応が必要と思う。特に高齢者の介
護の抱える問題について本市の対
応方針は。

答弁 市長

高齢となり介護状態になっても
住み慣れた地域で、安心して暮ら
せる「地域包括支援ケアシステム」
の構築が必要と考える。その中で
も介護予防、介護サービスの整備、

高齢者を支援する環境整備が肝要
で、市民と共に安心して暮らせる
伊万里を目指していきたい。

共助の世界の地区活動

質問 市内大坪町栄町地区におけ
る法人設立の背景と経緯は。

答弁 政策経営部長

副区長と区長を経験されたNP
O法人の会長が、平成21年栄町地
区の全世帯を対象とした「栄町地
域づくり会」を設立。その後、平
成24年にNPO法人化され、「特
定非営利活動法人NPO栄町地域
づくり会」として、新たな出発を
している。

質問 ピンチをチャンスに変える
ような取り組みに対して、市長の
考えは。

答弁 市長

栄町地区は、高齢化率が他地区
より高い状態であった。行政に頼
らず、地域の課題は地域で解決し
ている。当初は電球交換から始ま
り、弁当の配付、今回の宅配事業
との連携協定に繋がっている。こ
の取り組みは、高齢者の元気な生
き甲斐作り、雇用、そして配送業
者の過重労働解消となっている。
この先進的な取り組みが全国にも
広がるよう期待している。

みなとまつりに
ついて



船津 賢次

質問 前議会で「焼き物積出港」の
模型(現在市民センターに展示)を
会場に展示したいと答弁されたが
展示されていなかった。その理由は。

答弁 政策経営部長

屋外の展示は雨や海風、さらに
模型が20年経過しており破損する
可能性もあり展示できなかった。

質問 イベント会場に展示した後
どこに展示するのが一番いいのか
検討したいとも答弁されていたが。

答弁 政策経営部長

適地は見いだせていない。今後
関係各課と協議していきたい。

高齢者の外出支援に
ついて

質問 市長は高齢者支援としてい
まりんバスにシルバー回数券等の
導入を新年度に向けて検討したい
と答弁されていたが。

答弁 政策経営部長

高齢者の外出支援として運転免

許証の自主返納者に対して4月か
ら一年間無料の制度を導入した。
シルバー回数券の導入については
100円という設定自体が高齢者
の外出支援を考慮したものという
のが実情だ。外出支援については
運賃以外にもコースの設定や高齢
者が乗降のしやすいノンステップ
バスの導入なども次回更新に向け
ての検討課題だ。高齢者の利便性
向上についてひきつづき努めたい。

元気バスについて

質問 町外の方も利用できるよう
にすべきだ。

答弁 政策経営部長

元気バスは会員制の「貸し切り
バス」ということから法的制約が
あり、利用者は東山代町民に限定
されている。法的制約を一つ一つ
整理しながらできるだけの支援・
協力をしていきたい。

小中学校のエアコン
設置状況について

質問 県内10市の平均が44・1%
に対し伊万里市は1・8%と著し
く遅れている、早期着工を。

答弁 市長

教育環境の整備に年次的にも取
り組んでいきたい。

一般質問

インフルエンザ
対策について

前田 敏彦

質問 全国的にインフルエンザワクチンが不足していると聞くと、本市の状況は。

答弁 市民部長

ワクチン株の変更があったため製造が遅れ、本市でも不足している状況だが、ワクチンの供給は12月後半に安定する見込みである。
質問 予防接種の費用助成は、例年12月末までに接種した方を対象としているが、ワクチン不足の今季はどうするのか。

答弁 市民部長

予防接種助成期間を1ヶ月延長するように、県と共に決定した。

質問 予防接種費用助成の延長措置の周知はどうしているか。

答弁 市民部長

1月の広報やケーブルテレビでお知らせし、市のホームページを12月4日に更新し周知をしている。

質問 高齢者の自己負担額は県内で2番目に高くなっているが、軽減できないか。

答弁 市民部長

高齢者の費用は、有田町を含め地区医師会との話し合いで、1人1400円自己負担になっている。

質問 現在、就学前の子供に費用助成があるが、助成枠を中学3年生まで拡充することをどう思うか。

答弁 教育長

集団生活の場である学校では予防接種は有効であり、費用助成があればありがたい。

答弁 市民部長

子供の助成については、未就学児が罹患した場合、重篤になることがある為、費用助成を行っているが、枠の拡大予定はない。

質問 健康に過ごすためには、病気を予防することが重要になるが

予防接種費用助成について市長の考えは。

答弁 市長

高齢者福祉の観点から、近隣市町並に自己負担額の引き下げを検討したい。また、子供の健康を考慮し費用助成についても、検討課題としたい。

防犯灯設置事業について



副島 明

質問 議会の決算委員会で、新規と更新を分けて推進されるように意見が付けられていたが、検討の状況はどうなっているか。

答弁 総務部長

区長会長会などからの意見として、新規を優先して取り組むこと、新規でも支柱から設置しなければならぬものは、地元負担軽減のために補助率を上げること、更新については、各自治会で優先順位をつけて申請をもらうことなどの意見が出されている。

質問 これからの事業推進の考え

として、地域のことは地域で決めることが出来る、地域の元氣推進事業との統合も考えられると思うが。

答弁 総務部長

地域の事情が異なっており、補助金の交付や返還などの事務手続きが煩雑になることなどを考えると馴染まないと考える。

伊万里港50周年記念
事業について

質問 記念歌、伊万里港の作詞を公募する選択はなかったのか。

答弁 政策経営部長

観光大使の池田輝郎さんに、伊万里港祭りで記念歌を披露していただくことを前提に、話が進んでいった。キングレコードとの話のなかで、市長作詞案が提案され、それを受けての市長作詞になった。

来年度からの留守家庭児童クラブ6年生までの拡大について

質問 大坪小学校に設置しなければならぬ第4クラブの位置づけが条例改正案にないのはなぜか。

答弁 教育部長

今年度になって一年生の利用者が増えて、現在では定員いっぱい状態であるが、昨年度の試算では、大坪小学校については、余裕があるという結果だった。

質問 今のままで30名、40名の

子供たちが利用できない状況になるのではないか。

答弁 教育部長

来年度の応募状況をみてからの判断になると考える。第4クラブを設置する余裕教室の確保もできている。

一般質問

第5次後期基本計画について



前田 邦幸

質問 4年間の総合評価は。

答弁 政策経営部長 安心で健やかな暮らしづくりでは、特に子育て支援の充実では4子からの給食費の無料化や中学生までの医療費の無料化ができた。創造的で心豊かな人づくりでは、小中学校の規模を図り、9年間の連続性を生かし系統化した小中一貫義務教育学校南波多郷学館が来年度開校する。活気あふれる産業づくりでは、農産物の安定的な供給と収益を見据えた農業基盤の増強や大手旅行会社との旅行商品開発や観光集客活動を行っている。

質問 子育て支援の充実の中でふるさと応援寄附金を財源に中学校の給食費無料化にしたら。

答弁 政策経営部長 ふるさと応援寄附金の総額は10億円の中で、4億5千万円使えるが、29年度は、4億3千万円を充当していたので、財源としては無理。

新たな財源があれば、検討したい。
質問 医療体制の充実の中で伊万里休日・夜間急患医療センターの院内薬局の開設は。

答弁 市民部長

平成27年6月議会一般質問後、医師会・薬剤師会・健康づくり課で現地を確認したのも、継続審議となっていたが、今年3月に薬剤師会から要請があった。今後は県とも協議をして行きたい。

質問 スポーツ振興の中で、国見台運動公園には、市外からも多くの利用者が来られているが、きれいなユニバーサルデザインを考えたトイレ改修が必要では。

答弁 教育部長 多くの人が利用されており、トイレ改修は必要と思う。佐賀国体に向けた施設整備に合わせ改修したい。

質問 第5次後期基本計画を踏まえた、今後の総合計画は。

答弁 市長 人口減少が一番の課題。第6次基本計画の中心に、第1に交流観光増加プログラム、第2に産業の活性プログラム、第3に官民連携型のまちづくりプログラム、第4に公共施設再配置プログラム、第5は市民の安全安心・健康を守るプログラムを基本方針でいく。

市職員の職場環境の確保について



馬場 繁

質問 ①職員の残業の状況は。②残業の多い部署の人員配置策は。

答弁 ①総務部長、②政策経営部長 ①昨年度の残業は職員一人当たり132時間。個人では昨年12月に126時間していたので、産業医の面接を受けさせた。②業務量増大時は課内や部内職員の流動での対応を原則にしている。

質問 残業を減らすには職員の能力アップも必要と思うが取組みは。

答弁 総務部長 階層別・実務・課題・派遣研修など職員の職務能力向上に努めている。

質問 ①メンタル不調者は何名いるか。その対策の取組み状況は。②良好な職場環境を確保するための、市長の考えは。

答弁 ①総務部長、②市長 ①メンタル不調で30日以上以上の休職者は9名である。この予防と早期発見のためストレスチェックに取組ん

でおり、28年度高ストレスの結果が出た8名には医師による面接指導を行なった。今後もこの方法でメンタル不調の予防を図りたい。
②管理職には常に部下職員に対し目配り・気配り・話しかけなどを指示している。今後も職員の能力向上やメンタル対策などに十分配慮し、良好な職場環境を作っていきたい。

道路の整備について

質問 本年度伊万里東府招ICの開通で国道202号がさらに渋滞すると思うが、その対策は。

答弁 政策経営部長

渋滞対策は西九州自動車道の延伸が一番だが、短期的には信号機の時間調整を関係機関と協議したい。

質問 東陵中学校が開校して25年経つが大坪・桃川線、古川・村分線が未整備である。今後の見通しは。

答弁 建設部長

両市道とも整備の必要性は認識しているが、財源の確保が厳しく、今後努力していきたい。



一般質問

有害鳥獣対策について



坂本 繁憲

質問 平成28年度年度の①捕獲状況、②被害額は。

答弁 産業部長

①イノシシ4、523頭(過去最高)、アライグマ172頭、アナグマ135頭、カラス502羽。②2、980万9千円。

質問 焼却施設建設への取り組みは。

答弁 市長

焼却施設、加工処理施設建設は、施設の整備費だけでなく維持費にも巨額の財政負担が生じるため、市単独の取り組みは困難。佐賀県GM21ミーティングにおいて伊万里市から問題提起し、県に建設の要望を行った。今後も、県議会議員・国会議員と連携して、県及び国に対しても建設の要望を続けていく。

観光振興について

質問 伊万里フェアなどでのPRが、集客につながっているか。

(観光客の増加が見込まれる、ゴールデンウィーク、どっちゃん祭り、いまり秋まつり、大川内山、春・夏・秋の藩窯まつりなどに併せて、いまりんバスを期間限定で無料とし、回遊性を高める取り組みをしておりますか。)

答弁 産業部長

伊万里フェアは、伊万里産食材を使った限定メニューを伊万里鍋島焼の器で提供するもので、首都圏や大阪、福岡のホテルで開催。年々箇所も増加しており、好評である。また、福岡ドームでのオーブン戦では場内を伊万里一色に染め、来場者に観光パンフレット等を配布し、本市の魅力を紹介するプロモーションを行った。

質問 伊万里みなと祭りでの伊万里湾からの花火大会は多くの市民に感動をもたらした。今後は。

答弁 市長 今回ご寄附いただいた渡邊代表取締役から、来年度も花火大会への協賛の意向が示されている。いくつかの課題はあるが、伊万里湾からの花火大会の実施に向けて検討していきたい。

進学の多様化
通信制高校への進学



岩崎 義弥

質問 通信制課程は中学を卒業して働いている方、様々な理由で毎日の登校が困難な方、最近ではスポーツや音楽、芸能活動、起業や家業などの商業活動、学業以外にもやりたいことがあり、効率的に高校卒業資格を取得したい方など多様化が見られる。幸い伊万里市内にある敬徳高校にも平成28年度に通信制課程が設置された。本市の通信制への進学状況はどうなっているか。

答弁 教育部長

平成27年度が県内2名、県外4名の合計6名、28年度は県内5名、県外2名の合計7名、29年度は県内9名、県外1名の合計10名。

質問 高校未進学者への通信制の案内方法は。(通信制が他の高校と同じように選択肢になる時代になってきており、広く知ってもらふ必要がある。卒業生への情報提供についても積極的にお願いしたい。)

高校未進学者への通信制の案内方法は。(通信制が他の高校と同じように選択肢になる時代になってきており、広く知ってもらふ必要がある。卒業生への情報提供についても積極的にお願いしたい。)

答弁 教育部長

中学校では進路に関する授業や高校説明会で通信制についてもあわせて紹介。卒業生で通信制への進学を希望する生徒についても随時情報を提供し、相談を受けている。

市宮散弾銃射撃場跡地

質問 大型沈砂池設置の用地交渉の状況は。

答弁 教育部長

地権者は登記名義人4名、すでに亡くなっているため相続人と交渉中。用地取得に向け少しずつ前に進んでいる。

質問 次回の環境対策検討委員会、および有識者の先生を交えた地元住民との意見交換会の予定は。

答弁 教育部長

会議は1月下旬から2月中旬に開催予定、意見交換会は重要な取り組みと認識しているため可能な限り設けられるよう委員とも日程調整をしていきたい。

質問 市長の考えはどうか。

答弁 市長

土地の所有権移転が完了したら市で買収し工事が着手できる。財源は土地開発基金で充当する方針。水質調査・土壌調査を継続し、不安の払しょくに努めていきたい。

一般質問

松島搦開発について



松尾 雅宏

質問 松島搦を横断する大坪・木須線の開通時期と、道の駅建設への進捗状況は。

答弁 **建設部長**

大坪・木須線の開通は予定通り30年3月末と県から聞いている。道の駅については松尾議員6月議会提案後にプロジェクトチームを結成し、5回の協議を行なった。国土交通省は一般国道への道の駅設置を歓迎されており、基本構想を急ぎ策定し協議を深める。

質問 概ね商業施設が配置されているが核になる大型施設がない。今一度、ゆめタウンを市長から誘致を願えないか、また最近話題になっているコストコの誘致も願いたい。

答弁 **市長**

7年前、イズミ社長が出店要望に伊万里に見えたが結果的に商圏の判断でまともになかった。しかしその頃と今では道路整備状況が著しく違っており、今一度、要望

には行く。またコストコについても開発委員会と協議を行う。

水田農業について

質問 国が管理する生産調整が本年度で終わり、義務から目安となる。当然米の下落を防ぐため目安は遵守する必要があるが、共済災害補償も任意となる今、「収入保険」制度の普及を。

答弁 **産業部長**

中山間地を抱え持つ伊万里市にとつて大きな問題であり有効な策がない。収入保険制度は収入の9割補償がある。加入に青色申告の課題はあるが、共済組合・農協と連携し普及につとめる。

有害鳥獣最終処分について

質問 猟友会では年間3千頭を越える捕獲があり、農作物被害・社会的被害軽減に貢献されているが、埋設処理が大きな負担である。駆除を行うには埋設処理負担の軽減が喫緊の課題である。

答弁 **産業部長**

新聞報道を受けて猟友会と埋設場所の確保・埋設費用の負担について話し合った。新年度前向きに対応する。

会計年度任用職員制度



力武 勝範

質問 制度の概要について。

答弁 **総務営部長**

この制度は、平成32年4月から適用され、①各自自治体等で異なっていた任用根拠が統一化され、職員の身分が安定するとともに、反面懲戒処分の対象ともなる②会計年度に区分した採用であるが、人事評価の適用があり、再度の任用がありうる③期末手当などが支給可能となる④休暇制度の充実、このようなもので、臨時職員等の待遇改善が図られると思う。

質問 財政負担増について。

答弁 **総務部長**

報酬に、通勤手当、期末手当(再任用職員と同額の年間1・45月と仮定)が追加され、約1億円の財政負担が増えると思込んでいる。

質問 今後のスケジュール。

答弁 **総務部長**

30年度に各自自治体との均衡を図りながら検討、31名の年6月まで

に、任用の方法、勤務条件等の素案作成、31年度中に議会へ報告、31年12月議会へ条例改正案提出、32年4月から実施となる。

答弁 **市長**

県内はもちろん、全国の自治体との均衡を保ちながら、情報を共有し慎重に検討する。

児童クラブ民営化

質問 労働契約法の日々雇用職員への適用について。

答弁 **総務部長**

地方公務員法等法令根拠に基づいた雇用ではない。また、労働契約書は無いが、それに準じた雇用と解釈している。このような理由で、労働契約法の適用があり、5年を超えて勤務されている支援員の再雇用が困難となる。

質問 学校等との連携について。

答弁 **教育長**

民間委託後も、教育委員会が主体となつて学校、保育園等との話し合いの場を設けるなどして、連携を図っていききたい。

質問 地域との連携について。

答弁 **教育長**

すでにある地域との交流を継続させ、市と民間事業者が協力し、地域との連携を深めていきたい。

一般質問・編集後記

市長と語ろう「伊万里夢づくり」座談会について



井手 勲

市長は、今回の地域住民との意見交換で、市民の思いをどう感じ取られたか。また今までの施策を総括して、これを今後市政にどのように生かしていくつもりか。

答弁 市長

地域の生の声を聞き、意見交換の大切さを改めて感じた。特に①地域住民の「まちづくり」に対する関心が高い。②地域住民との方向性について共通認識ができた。③インフラ整備についての要望が依然として多い。寄せられた意見については今年度より策定に取り組み第6次伊万里市総合計画の参考になりたい。総括として安心・安全も大切な事だが「夢づくり」座談会なので、もっと「ワクワク」「ドキドキ」するような市政の展開も必要と感じた。

道路施策について

質問

府招インター付近は、3月

の供用開始に向けて工事が急ピッチで進行している。小中学生・高校生の自転車通学路になっていて、開通に伴い危険性も極めて増大すると思われるが、伊万里に向かつて左側の歩道設置の計画は。

答弁 政策経営部長

左側については今はない。市においても安全性を確保する意味で必要と認識している。今後もしっかりと要望していく。市道「府招く藤川内線」は2月に、市道「府招6号線」は3月に完成。

教育政策について

質問

南波多郷学館が開校後、留守家庭児童クラブは閉校後の南波多中学校の校舎内にと聞いているが、今後のタイムスケジュールは。

答弁 教育部長

児童クラブとして使用するには内装の改装とトイレの整備が必要。財源の確保など課題が多く現段階では示すことができない。

質問

町民は跡地を、保育園や公民館の建替用地、町民グラウンドに望んでいる。今後の整備計画は。

答弁 市長

町民の思いの大変強い所と認識している。今後、皆様の意見を聞きながら検討していく。

編集後記



平成14年5月に創刊して以来、16年目、第64号の議会だよりとなりました。議員自ら記事企画し、原稿を持ち寄り、レイアウトから編集・校正を繰り返す地道な作業でお届けしています。

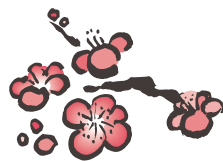
表紙はいかがだったでしょうか？通常は、季節の旬の場面を切りとり掲載していますが、今月は、19日より25日まで13町の公民館において、議会報告会を開催する事もあり、創刊号以来の集合写真としました。冬季オリンピックが佳境に入る時期ではありますが、ぜひ足をお運びください。

今年には維新150年です。これまで以上に佐賀県、そして、伊万里が注目されます。

明治・大正・昭和の時代から昭和・平成・新年号へと「常識」は刻々変わっても「良識」は変わりようがありません。

この議会だよりは、あなたと議会をつなぐ「橋」です。良識をもつ

て発信した議会情報を、正確に、そして、わかりやすく理解してもらう工夫を怠らず、一人ひとりと議会が情報を共有しながら、まちづくりに生かしていけるよう、これからもよろしくお願い致します。(弘川 貴紀)



編集委員

- ◎盛 泰子 ○岩崎 義弥
- 前田 敏彦 前田 邦幸
- 弘川 貴紀 香月 孝夫
- 顧問 馬場 繁 樋渡 雅純

発行 伊万里市議会
 伊万里市立花町一三五一
 0955-23-25094
 0955-22-12777
 E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

編集 市議会だより編集委員会
 印刷 山口印刷株式会社